

弘前大学 × 中央公民館
人文社会科学部

地域未来創生塾

令和7年10月1日(水)～11月26日(水)の期間の隔週開催

おもい
想いの
未来を
描こう

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 弘前大学との地域づくり連携事業
弘前市立中央公民館

日程: 令和7年 10月1日、10月15日、10月29日、11月12日、11月26日(全5回)

時間: 18:30～20:00

対象: 弘前市および近隣にお住まいの高校生・大学生・一般の方

場所: 弘前文化センター3階 多目的研修室 ほか(弘前市下白銀町19-4)

お申込みは当日会場受付にて。

またはこちらの QR コードから事前の受付も可能です。



参加
無料

当日参加可能

※全5回のうち4回以上ご参加の方には修了証を授与します。最新情報については、チラシ配布および地域未来創生センターホームページに掲載します。

主催: 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 共催: 弘前市教育委員会(中央公民館) 後援: 弘前市・東奥日報社・陸奥新報社

お問合せ

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター ☎0172-39-3187

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 E-mail irrc@hirosaki-u.ac.jp URL <https://human.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>

「地域未来創生塾@中央公民館」

目 的

「持続的で豊かな地域創造」をテーマに全5回の講座を開催いたします。

具体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策を模索するために、弘前大学人文社会科学部の教員が、ワークショップ形式で学びを深めます。関心のあるテーマのみのご参加也大歓迎です。



年間計画

第1回 10月 1日(水)

※第1回のみ多目的活動室
(プラネタリウム)で実施

コンドルは飛んでいくか? ~アンデスの言語と暮らし

講師: 諸隈 夕子(分野: 言語学)

内容: 日本の真裏に位置する南米大陸、その西側のアンデス地域にはかつてインカ帝国と呼ばれる大帝國が繁栄していました。現代ではインカの遺跡であるマチュピチュ、自然の神秘を感じさせるウユニ塩湖などが私たちに惹きつけて止みません。この講義では、このアンデス地域の文化・社会と、インカ時代より続く言語である「ケチュア語」について紹介していきます。

第2回 10月15日(水)

アイデア創出の経営学

講師: 高島 克史(分野: 経営学)

内容: アイデア創出に求められる態度や考え方について、皆様に体感していただくことが本講義の目的です。アイデア創出方法は、すでに実用化されたものがあります。しかし、そのアイデア創出方法を活用しても、斬新なアイデアが思いつく人もいれば、そうでない人もいます。本講義のワークを通じて、このような違いが生じる理由も体感してもらいたいと思います。

第3回 10月29日(水)

中国の「食べる」を考える

講師: 山田 敦士(分野: 現代中国論)

内容: “民以食为天”(民は食をもって天となす)。中国では古来、民も為政者も「食」を何よりも大切にすべきものと考えてきました。「食」をめぐる社会・経済・環境の現状。歴史や生活文化における「食」の位置づけ。地域研究の立場から、中国における「食」の事情を様々に考察してみたいと思います。

第4回 11月12日(水)

つながる、味わう、森づくりの新展開

講師: 近藤 史(分野: 地域研究)

内容: 針葉樹の木材価格低迷や農山村の人口減少、高齢化によって利用されなくなった山林は、獣害や不法投棄、土砂災害などの問題を引き起こすことがあります。どうすれば、山に価値を取り戻せるのでしょうか? 誰が、その活動を担うのでしょうか? ローカルで新しい人々の挑戦にスポットをあてて、一緒に考えてみましょう。

第5回 11月26日(水)

リンゴからアップルまで——国際貿易が映す私たちの暮らし

講師: 潘 銳(分野: 国際経済学)

内容: 弘前のリンゴは、どこまで世界へ届いているのか? アップルの「リンゴ」——iPhoneは、どんな長い旅を経て、今ポケットにあるのか? 身近なモノの「旅路」をたどりながら、国際貿易の仕組みが私たちの暮らしとどのように結びついているのか? 日常のエピソードからトランプ関税のような世界のニュースまで、国際経済の面白さを一緒にひもといてみましょう。



お問い合わせ

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 TEL 0172-39-3187

E-mail irrc@hirosaki-u.ac.jp URL <https://human.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>